

水・地域イノベーション財団助成

若者の意義ある参画(MYE)を
流域水循環の取組において
実現する方策の検討
成果報告

2025年11月27日
特定非営利活動法人日本水フォーラム(認定NPO法人)
チーフ・マネージャー 桑原 清子







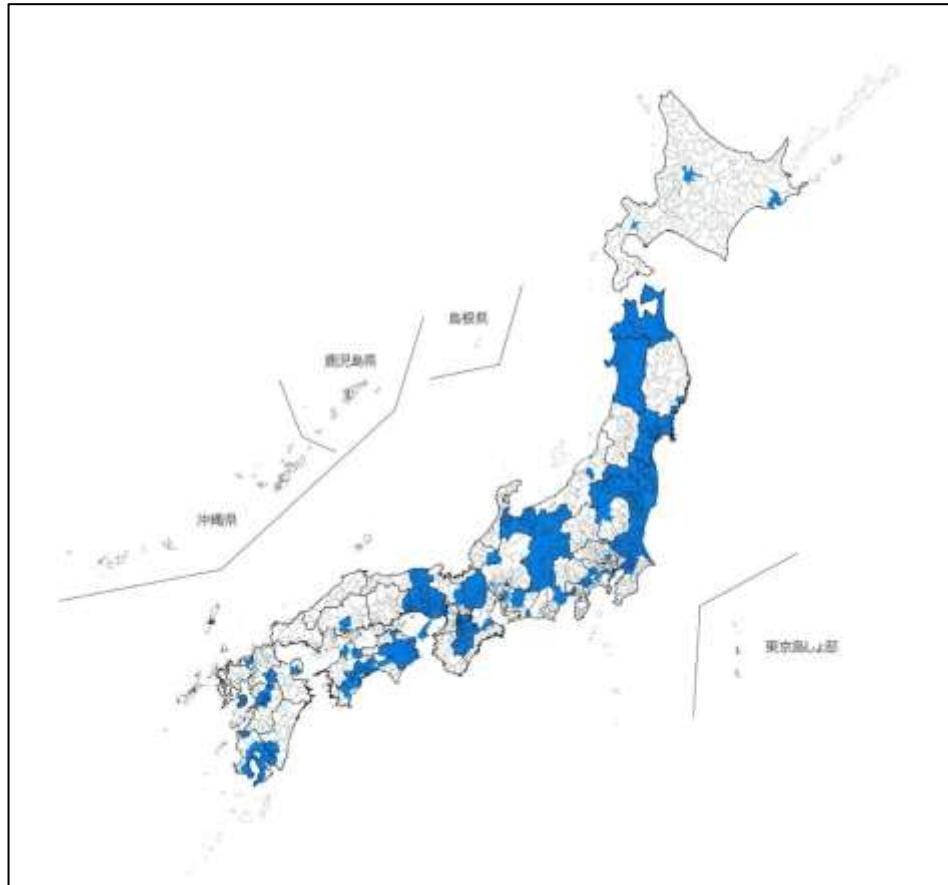


- ・ ホスト： インドネシア・世界水会議(WWC)
- ・ 開催日： 2024年5月18日～24日
- ・ 会 場： インドネシア・バリ ヌサドゥア コンベンションセンター
- ・ テーマ： **Water for Shared Prosperity(繁栄を共有するための水)**
- ・ プログラム： 公式セッション、ハイレベルパネル、テーマ別セッション、
特別セッション、サイドイベント、ユーススペースプログラム、展示・フェア等
- ・ 参加者： 世界各国の政治家、多国籍機関、学術、民間部門等から17,000人以上の参加見込
- ・ ホームページ： <https://worldwaterforum.org/>

第10回世界水フォーラム(WWF10)-ユースセッション



流域水循環基本計画から見た日本のMYE現状



流域水循環計画策定地域（2025年3月時点）
(出典：内閣官房水循環政策本部事務局HP)

策定年度	提出機関名	計画名	メイン課題
2016	川崎市	① 川崎市新多摩川プラン	水辺空間、治水、教育・普及啓発
2017	千葉県	②印旛沼流域水循環健全化計画・第2期行動計画	水環境
2019	錦江湾奥会議	② 錦江湾奥流域水循環計画	水環境
2021	さいたま市	④第2次さいたま市環境基本計画別冊水と生きものプラン	水環境、かん養、地下水
2022	にかほ市	⑤にかほ市水循環基本計画	水利用、地域振興、教育・普及啓発、人材育成
2022	高砂市	⑥第2次高砂市環境基本計画改訂版の一部	水質改善、貯留・涵養、水インフラ、治水、水辺空間、教育・普及啓発
2022	東広島市	⑦第2次東広島市環境基本計画の一部	水質、貯留・涵養、水辺空間

表 2.1.1 流域水循環計画（概要）においてユースの参画がうかがわれた事例

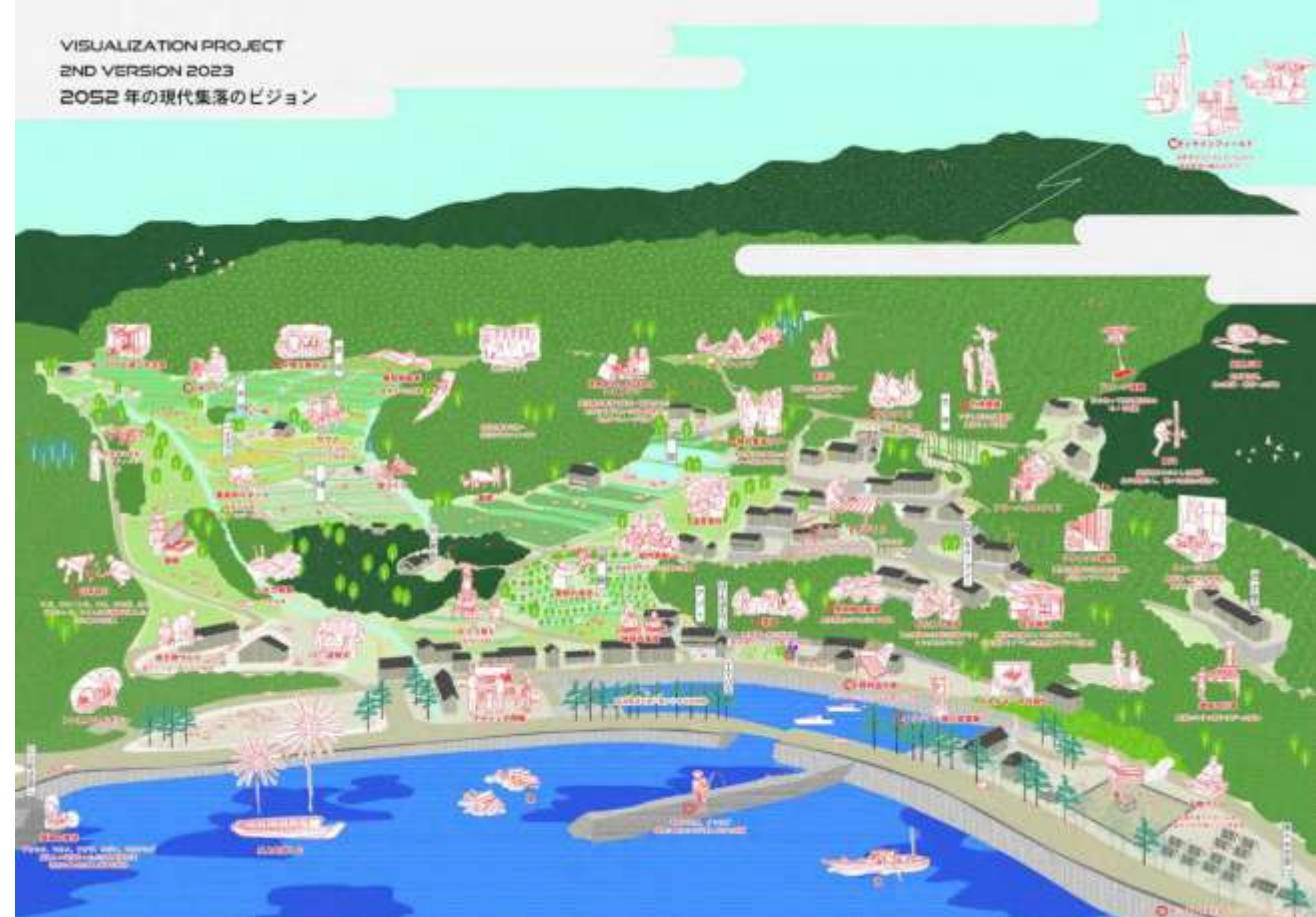
1. 教育・能力開発の機会提供 (ユース向けプログラムやプラットフォームの提供)
2. 多世代間の対話
3. ユースの政策関与の増加 (意思決定、実施、モニタリングの全ての段階に関わる)
4. ユースの活動を非公式 (informal) から公式 (formal) につなげる努力と政策の整備
5. ユースの水データへのアクセス向上
6. ユース研究への十分な資金援助
7. ユースの研究成果発表 (ユースの知識と貢献が等しく尊重される)
8. ユースの国際的な科学交流への参加
9. 精神衛生の観点からもMYEは若者にポジティブな影響をもたらす
10. 会議へのユースの有意義な参加には、ユースが「発言する」機会を持つだけでなく、ユースの視点が政策変更に向けた会議の議事録や成果声明に含まれることが必要
11. ユースが意見を表明できる場の設置や国際会議への派遣などが必要
12. 世代間の理解とネットワーク構築を促進する目的の上で、シニアとユースの間で双方向のメンタリングの実施が必要



白山手取川ジオパーク水リレー
出典：『水の文化』76号（2024年2月）WEB版



インドネシア西ティモール
出典：Church World Service（国際NGO）発表資料



「現代集落」30年後のビジョン
(2023年公表、2052年のビジョン)
出典：現代集落HP



応募動画冒頭のスクリーンショット

「ユース水フォーラム」自身がMYEを体現

